

dX時代の人材育成～2040を見据えて

滝川伸輔

(株)JAPANDX特別顧問

元総務省自治大学校長

地方行政の
デジタル化

公共私
の連携

自治体の
広域連携

住民サービス向上

職員負担軽減

データの活用

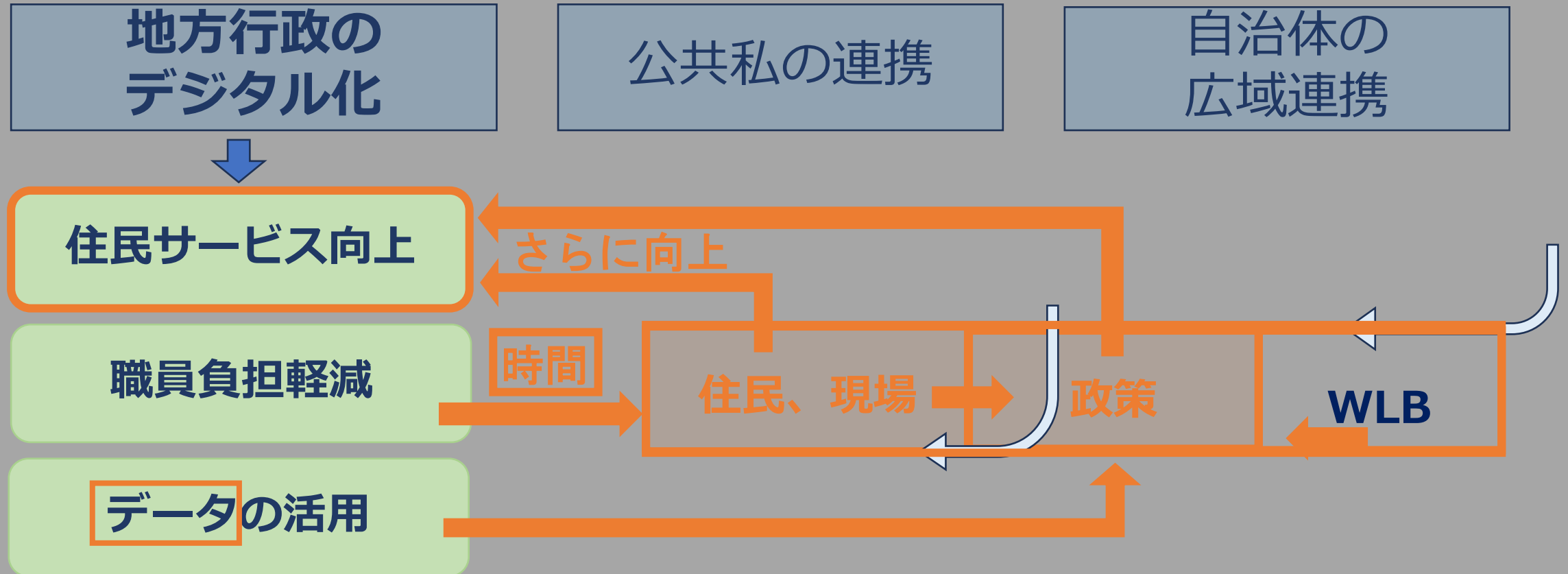
さらに向上

時間

住民、現場

政策

WLB



自己紹介

昭和62年自治省入省

在職中 通算18年 霞ヶ関勤務

通算16年 県庁勤務（千葉県副知事、奈良県副知事、鳥取、福岡）

令和 4 年 自治大学校長

- ・デジタル関係研修の拡充
- ・政策立案演習の強化

参考：『地方公務員月報』令和5年4月号巻頭論文

「自治大学校でデジタル時代を乗り切る主体的な学びを」

令和 5 年 退職

令和 6 年～ (株) JAPANDX特別顧問：自治体DX支援

何のためのdX？

住 民

行政の情報は分かりにくく
手続きは煩雑、不便、遅い

多忙な世帯や事業者は利用に難渋、
時間捻出に苦労



いつでも、どこでも、
ワンストップで簡単に



本来やりたいことを
やれる時間、情報、
チャンス、支援の増加！

職 員

業務時間の多くが定型的な事務作業

住民相談・訪問、政策・事業の検討
研修や視察に十分時間を取れない

人口減少・少子高齢化で今後も悪化

時間とデータを生み出す業務システム



職員を手作業から解放
時間とデータを与えて



WLB



住民に親身に！
出会いと発見を！
より良い政策を！

自治体職員の専門的能力の3側面 と

伸ばすべき要素

**A. 個別の業務分野に関する
専門的能力**

**B. 政策立案のための
マネジメント能力**

**C. 地域課題解決のプロジェクトを
推進する
プロデューサーとしての総合力**

・ **コミュニケーション能力**
多様な主体と協働

・ **ファシリテーション能力**
住民の自発性を促し合意形成をサポート



★ **国の制度改革のフォロー能力**
(ブラックボックス化の防止)

- ・ **データリテラシー**
- ・ **民間・他地域・国など多様な
主体とともに学び知識を生産**

サービスデザイン思考

- ・ **共感力**
- ・ **ストーリーテリング能力**
- ・ **任せる力**
⇐ **現場経験や派遣研修**

伸ばすべき要素（補足）

共感力 = デザイン思考の出発点

- ・ 新しい課題・プロジェクト・事業への挑戦者にも
- ・ 承認、紹介、周知によるサポート

ストーリーテリング能力 ← 同意取得から合意形成へ

任せる力 任せる範囲・内容を決めて

- ・ 人間が機械・システムに【監視しながら】任せる
- ・ 行政が住民・民間組織に【信頼して】任せる
- ・ 上司が部下に【変革と育成のために】任せる

時間・データ活用のための業務システム

